

2025年度ブルーカーボン量（形原コアマモ面積）

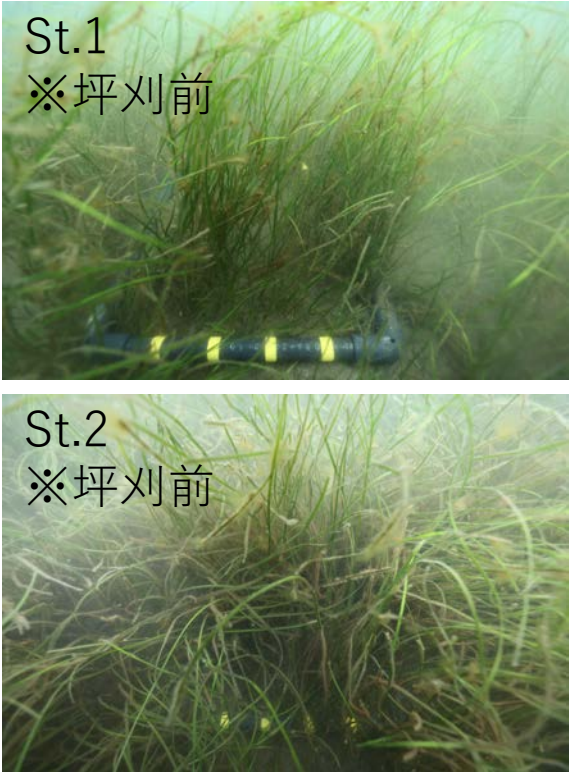
ドローンによる空中写真撮影（2025年5月13日）
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け
コアマモ場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定



※被度の判別は画像から、コアマモ場が濃く密に繁茂すると判読した範囲について、コドラート調査の結果を基に被度80%とし、実勢面積を算出した。
コアマモが生えていても画像で判別の難しいものや小さいパッチ状で面積に反映しにくいものは除外しているため本来よりも過小評価している。

【面積に対する確実性評価について】
対象面積内は水深0.5m-3mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

潜水目視調査による生育コアマモの把握、
コドラート調査によるの被度の把握、
生育コアマモの湿重量計測
（2025年6月2日）



※上記の撮影場所は左図（空中写真）の番号に対応

生育アマモ：コアマモ（面積算定に反映）
被度：コアマモ：80.0%
（面積算定に反映）
1m2当たりの湿重量：平均2.238kg

コアマモ対象面積（実勢面積）
＝ 面積合計 × 被度
＝ 0.0698 × 80%
＝ 0.05584 ha